

教員推薦図書 2025年7月

推薦教員	臨床心理学科 井上 忠典 先生	【推薦コメント】 この本は、サッカー漫画『アオアシ』を題材に、「自分で考えて動く力」を身につけるための思考法を解説した一冊です。「観察→判断→実行」という思考のフレームワークを軸に、物事をどう捉え、どう行動に移すかを具体的に解説しています。大学生活や将来のキャリアで求められる「自分で考えて動く力」を養うヒントが満載です。 例えば、「視点・視野・視座の重要性」については、ただ知識を得るだけでなく、「どこを見るか」「どこまで見えるか」「どこから見るか」といった多角的な視点の持ち方を学べます。これをカウンセリングや心理療法の領域に当てはめて考えると、「視座」という観点では、カウンセラー側だけでなく、クライアントの視点の取り入れることは必須ですし、さらにはクライアントが家族や友だち、職場の同僚からどのように見えるのか、カウンセラーは常に意識しておく必要があります。どの立場で見るのかによって、当然見え方が異なります。これらのことは一見当たり前のことですが、再度確認させてくれます。 このように、サッカーの知識がなくても、社会で役立つ「考え方」の本質を学べる内容です。漫画の具体的なシーンを引用しながら解説されているため、読みやすく理解しやすいのも魅力のひとつです。
書名	アオアシに学ぶ 「考える葦」の育ち方 カオスな環境に強い 「頭のよさ」とは	
著者名	堀尾 佳以	
出版社	九州大学出版会	
請求記号	814.9 Hor	
資料ID	901124149	